



少年男子遠的

弓道少年男子遠的 4位入賞した本県チーム。左から石川、坂本、久保田

拍手を力に 4位入賞

午後5時45分、日が傾き照明の中で行われた弓道少年男子遠的の3位決定戦。本県の矢は千葉に及ばず、選手たちは静かに射場を後にした。

足利大付高の実力選手をそろえ、優勝候補にも挙げられた本県。肩を落とす選手たちに宮澤章啓監督は「胸を張って表彰式に臨もう」と声を掛け、4位入賞をたたえた。

大会を通してチームでカバーし合い、引き寄せた入賞だ。2年の坂本翔は「ずっと一緒にやってきた仲間と結果を出せた」と笑顔ものぞかせ、久保田匠も「周りの応援で次第にいい射になった。チームの大切さを感じた」。

「一本一本を的中すること、地域の人や仲間たちが拍手をくれて心強かった」と石川碧輝。悔しさも喜びも、「ホーム」での大会を存分に楽しんだ。(鈴木久崇)